

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL <http://www.jaichi.jp> TEL(052)916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX(052)916-2308

2014. 9. 25 No.1100

発行責任者 林 達也 定価 10円
組合員の購読料は組合費の中に含まれています

福祉予算削るな!福祉を金儲けにするな!

10.26 愛知県民集会

とき 10月26日(日)10:00~
ところ 名古屋・若宮広場



総学習・総対話はじまる!

すべての職場から組合員一人ひとりの声をあつめよう

住民の期待に応えられる仕事は 働き続けられる職場があつてこそ

豊橋市職労

秋季年末確定闘争の意義、情勢の特徴を学び、「自分たちの職場を基礎に、組合員一人ひとりが主人公の組合活動をめざそう」と各単組で総対話・総学習が始まりました。豊橋市職労は9月17日に役員を対象に講師養成講座を開催。18日から各職場で対話して要求を出し合い、要求実現に向けた取り組みをすすめています。

9月18日、豊橋市の西部 与制度の総合的見直し」な学校給食共同調理場での 14人勸を中心に説明。職場学習会は、講師養成講座に参加した教育支部執行委員の白井利和さんらを講師に、14人が参加しました。学習は豊橋市職労作成の討議資料を教材に「給



白井利和さん(豊橋市職労)

また、「良い仕事があった」「住民の命とくらしを支える自治体」をめざし、職場の人員配置の増員や時間外勤務の縮減、定数削減反対など豊橋市職労の要求を説明し「当局は調理場や環境センターの委託化、定数削減を提案してきている。私たちの職場、住民のくらしを守るためにも労働組合で一緒にたたかうことが大切」と強く訴えました。

みんなの声で たたかおう

講師の白井さんは「給与制度の総合的見直し」による生涯賃金ダウンと近隣の地域手当の据え置きについて「これでは仕事に対するモチベーションが上がらない」と職員の気持ちを強く代弁します。また、以前の職場であった北部調理場の委託化に対して「実際に職場が無くなったことを目の当たり

にしてすごく危機感を感じた。ずっと働き続けられる職場があるからこそ経験を蓄積し、住民の期待に応えられる仕事ができる。西部調理場は100%の組織率。「数は力」、これからも一人でも多くの仲間を迎え、みんなが声を出してたたかっていたい」と組織拡大の重要性を強調し、参加を呼びかけました。

改善すべきは「本給」 14人勸に怒りの声

長久手市職労

「賃上げというが、0.3%は魅力的な数字ではない」と2014年人事院勧告について語るのは、「おきPROMEXIT」に参加した長久手市職労の執行委員長、芳賀拓己さんです。長久手市職労では、すでに執行委員会で県本部討議資料などを使って14人勸と秋闘について学んでいます。



芳賀拓己執行委員長

芳賀委員長は14人勸に対して、「消費税も物価も上がり、賃上げが少なすぎる。その上、給与制度の総合的見直しが実施されたら2%も本給がダウン。明らかに賃下げ人勸」と指摘します。また「給与制度の総合的見直し」について県本部試算データを見て、「自分は35才前後の若い層と分かる。若い人にも大きな影響があるんだと、みんなに伝えたい」と語ります。長久手市の地域手当は、

職場のすべての 仲間と対話しよう

14 秋季年末闘争 愛知県本部方針

人員要求や職場改善要求など職場の対話をすすめる、要求をきかけて運動をすすめます。特に、自治労連の産別に結集したたたかいを追求し、14人事院勧告に伴う月例給・初任給などの大幅な改善をめざします。さらに、賃下げ・格差拡大の給与制度の総合的見直しは、12月導入阻止をめざします。また、4月からの消費税増税による経済への悪影響が明らかになると、引き続き増税に反対し、くらしを守る取り組みを職場から地域に広

憲法を守るとりくみをすすめる、集団的自衛権の行使容認に反対し、社会保障

げ、11月13日の地域総行動で共同のとりくみをすすめていきます。

の切り下げ・労働法制の改悪・原発再稼働反対など、要求にもとづく運動をすすめます。また、要求実現にとって重要な関わりを持つ知事選挙についても議論を深め、とりくみをすすめます。私たちの要求を実現させるためには、一人でも多くの仲間を組合に迎え入れることが大きな力となります。秋の組織拡大月間(10月~12月)を正規・非正規を問わず、職場のすべての仲間と対話を広げ、目に見える組合活動を元気にとりくみましょう。

給与改善 勧告求める

県人事委員会へ要請

愛労連、愛知公務共闘、自治労連愛知県本部は9月10日、県人事委員会に対して「2014年賃金改善に関する要請書」を提出し、給与改善勧告を行いました。要請に対し「今年度はプラス勧告でないか」、人事評価制度については「全職員が対象。運用には理解と納得のための説明が必要」と見解を示しました。同時に「給与等の改善に関わる要請署名」を25団体、個人4517筆を提出しました。



秋 seasons 末闘争方針を確認し、とりくみに向けて意思統一

組織の強化拡大を軸に “組合員の生活改善”する秋闘を 県本部第1回中央委員会

初日、第1号議案「2014年秋 seasons 末闘争方針(案)」をはじめとする3つの議案提案を受けて、「市の現業不採用方針に対し、学習で怒りを組織し、10・15現業統一行動へつなげる」(橋口・名古屋市職労)。「機関紙の見出しは組合員目線に配慮すべき。職場の状況をふまえた運動の

秋 seasons 末闘争に向けて、自治労連愛知県本部第1回中央委員会を、9月19日、20日にかけて、蒲郡市内で開催しました。中央委員会では、「職場で仕事と働きがいを語り合い、憲法が生きる職場・自治体を展望し、職場・地域から運動をすすめる要求実現をめざす」など5つのたたかひの基本方向を確認。要求実現と組織強化拡大を軸に、秋のたたかひに向けてとりくむことを意思統一しました。

●たたかひの基本方向(概略)
①組織の強化・拡大を大きな推進力に、要求の実現をめざす
②不当な給与制度の総合的見直しを持ち込ませず、改善めざす
③憲法をいかし、職場・地域から運動をすすめる要求実現をめざす
④国民要求をかかげ、共同を広げて要求の実現をめざす
⑤集団的自衛権反対、憲法と平和を守り、県政の革新をめざす

議論が必要だ」(築瀬・西尾市職)。「職場での声かけが大切。コミュニケーションを大事に仲間を増やす」(近藤・名水労)など8人の中央委員が積極的に発言しました。2日目は3つの分散会に分かれて討論。「組合員の生活改善のため、14人勧に対していかに県内で統一した闘争を」、「要求闘争と結合した組織の強化拡大が大切」など、意見を交わしました。

●関争ゾーン
9月から10月上旬を総学習・総対話期間。10月3日を全県一斉要求書提出日、15日を回答指定日。20日から交渉ゾーン。11月5日に全県決起集会を配置。22日に第2回中央委員会を開催。

確認されたたたかひの基本方向と闘争ゾーン

“自分たちの仕事”を“保育の大切さ”を語ろう 県本部保育所部会総会兼「秋の学習会」

県本部保育所部会は9月13日、総会を兼ねた秋の学習会を開催し、県内から59人が参加しました。静岡大学教育学部の石原剛志教授が「保育・教育・子育て支援の新しい制度が始まる」保育の市場化、小学校の準備教育化に立ち向かう実践・研究・運動を」と題して講演。石原氏は、新制度施行に向けてすべきこととして、保育所を小学校教育の準備段階にしようとする動きに対して、「保護者に対して、園でどのような保育をやっているか、自分達の仕事を語れるようになるう。その上で、保育の大切さを

子どもたちの命と未来を守るために脱原発を実現しよう」と訴え。集会後は休日のにぎわう大須商店街などを「脱原発！」と元気に行進しました。

参加者からは「教育を押しつけることなく、子どもの気持ちを大切に保育をつづけたい」と感想が出されました。

志教授が「保育・教育・子育て支援の新しい制度が始まる」保育の市場化、小学校の準備教育化に立ち向かう実践・研究・運動を」と題して講演。石原氏は、新制度施行に向けてすべきこととして、保育所を小学校教育の準備段階にしようとする動きに対して、「保護者に対して、園でどのような保育をやっているか、自分達の仕事を語れるようになるう。その上で、保育の大切さを

語ろう」と訴え。また、保育の市場化に対して「子どもたちに格差を押しつけることのない公的保育を守ること。子どもにとっての最善の利益を考え、平等に質の高い保育や教育を保障するには市町村の力が不可欠である」と訴えました。

子どもの未来のために脱原発

原発ゼロを永遠に！NAGOYA ACTION

鹿兒島県の川内原発をはじめとする全国の原発再稼働の流れに「NO！」の声を突きつけようと9月21日、名古屋市白川公園で「原発ゼロを永遠に！NAGOYA ACTION」が行われました。集会には市民を中心に1000人が参加、自治労連からも

50人以上の仲間が参加しました。にぎやかなドラムセツションで始まった集会では、ゲストの鎌田慧さんが「原発は「安全・安心・必要だ」と嘘をつかれ、政府は無責任に、私たちは無関心ここまで許してきてしまった。私たちの、そし

て子どもたちの命と未来を守るために脱原発を実現しよう」と訴え。集会後は休日のにぎわう大須商店街などを「脱原発！」と元気に行進しました。

「さよなら原発！」と元気に行進

「さよなら原発！」と元気に行進

セット共済 安く安心
掛金 1820円/月 → 病気入院 5000円/日
自治労連



「さよなら原発！」と元気に行進

- 単組定期大会 役員紹介**
- 犬山市職労(9月17日)
執行委員長 後藤 泰介
副執行委員長 北野 研吾
書記 長 石黒 貴之
書記次長 遠藤 和幸
 - 半田市職(9月18日)
執行委員長 斉藤 節男

- 幸田町職労(9月4日)
執行委員長 石川 直洋
副執行委員長 岩崎 倫子
- 豊川市病職労(8月28日)
執行委員長 中村 貴博
副執行委員長 井口 朝子
書記 長 高村 政行
書記次長 渡辺 基裕

- お詫びと訂正**
1099号2面の「豊川市病職労役員紹介」の一部に誤りがありました。正しくは、以下の通りです。お詫びし訂正いたします。
- 豊川市病職労(8月28日)
執行委員長 中村 貴博
副執行委員長 井口 朝子
書記 長 高村 政行
書記次長 渡辺 基裕

- お詫びと訂正**
1099号2面の「豊川市病職労役員紹介」の一部に誤りがありました。正しくは、以下の通りです。お詫びし訂正いたします。
- 豊川市病職労(8月28日)
執行委員長 中村 貴博
副執行委員長 井口 朝子
書記 長 高村 政行
書記次長 渡辺 基裕

おたのしみプレゼントつき クロスワードパズル

【ヨコのカギ】①その〇〇で店に立ち寄る ③首都はニューデリー ⑤いんちき。――博打 ⑦ゴルフでアウトの対 ⑧真打 ⑩乾布――、貿易―― ⑫〇〇場の馬鹿力 ⑭おどかし。――射撃 ⑯それを――が鉄砲で撃ってサ

左のクロスワードパズルを解き、解答および名前・組合名・職場をハガキに書いて送ってください。抽選で10名に図書カード(1000円分)を贈呈します。
〒462-0845

名古屋北区柳原3丁目7-8 自治労連愛知県本部教宣部 締め切りは10月31日必着。ハガキに近況や職場での話題、「あいちの仲間」の感想や載せてほしい話など、書き添えてください。

【タテのカギ】①恋〇〇、溺〇〇 ②見渡せる範囲。――良好 ③いつやるの?〇〇でしょ ④無理が通れば引込む ⑥秋刀魚 ⑧特別に安い値段 ⑨準備万端。――なし ⑩妻と子 ⑬こんなの〇〇の口 ⑮〇〇ー つない空

クイズの当選者
朝倉 崇(豊橋市職労)
天野 栄(名古屋市職労)
石原三千代(名水労)
今枝 正継(岩倉市職)
入谷 彩香(春日井市職労)
日下部輝子(名古屋市職労)
小林 麻衣(蒲郡市職)
志賀 勝子(自治体一般)
中山 良子(豊橋市職労)
松井 芳巳(西尾市職)